

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2020-28
研究課題名	検診上部内視鏡検査における COVID-19 感染リスクを考慮した検温、問診および抗原検査の有用性
研究責任者	消化器内科 河端 秀明
研究期間	2020年9月10日～2021年9月9日
研究の背景・目的・意義・方法など	<p>内視鏡検査による医療従事者の COVID-19 感染を回避するため、不要不急の内視鏡検査を控えることが推奨されています。しかしながら、長期にわたり上部内視鏡検査を控えることは、本邦の罹患および死亡原因の上位を占める胃がんの早期発見・早期治療の機会を逃し、がん死亡率の上昇を招く恐れがあります。</p> <p>そこで、当院では 2020 年 7 月 20 日から人間ドックでの上部内視鏡検査受診者に対し、検査前に検温、呼吸器症状や接触歴に関する問診票および COVID-19 抗原検査を行い、感染の疑いがある場合には PCR 検査を用い感染の有無を確認した上で施行しています。本研究では、人間ドックで上部内視鏡検査を受診した 119 名を対象に、体温、問診票(最近の発熱歴、発熱以外の症状、発熱者との接触歴、最近の人混みへの移動など)および COVID-19 抗原検査の結果、および PCR 検査施行例において施行に至った原因と PCR の結果を解析します。また、2020 年 8 月に内視鏡センター勤務の全常勤医療従事者 29 名に施行した PCR 検査の結果から、検診上部内視鏡検査における院内感染予防策としての有用性を検討します。</p>
対象者	2020年7月20日から2020年8月5日まで、人間ドックで上部内視鏡検査を受診した119名の患者
個人情報の保護	個人のデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)状態で、国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、お申し出下さい。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、ご希望に添えない可能性があります。
研究データの二次利用	本研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合がありますが、その際には、改めて倫理委員会の承認を得た上で、お知らせいたします。
問い合わせ先	京都岡本記念病院 消化器内科 河端 秀明 TEL 0774-48-5500